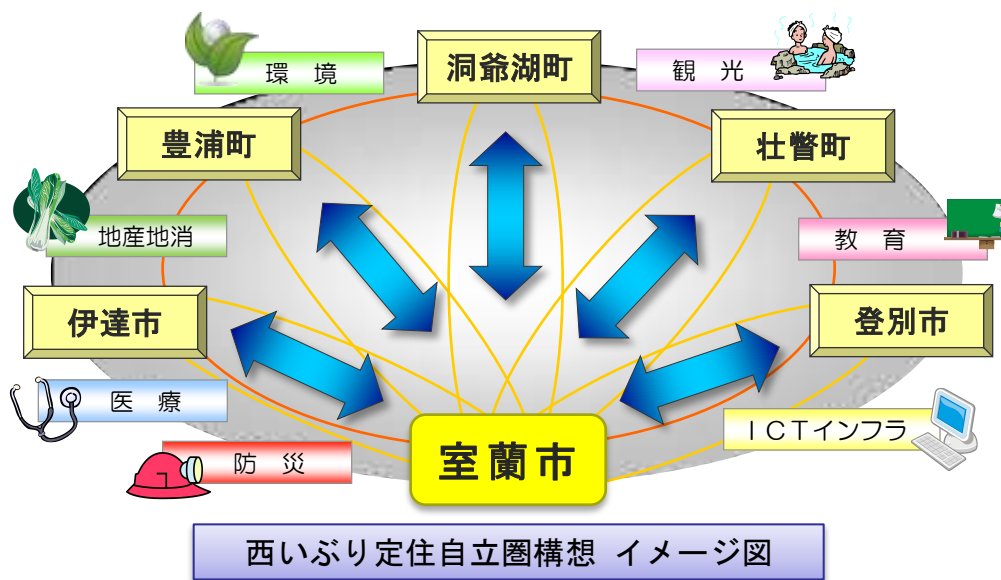


西いぶり定住自立圏構想の推進

〔共通・継続〕

■ 現 状

西いぶり圏域では、国が進める地域連携の新たな手法である、定住自立圏構想を推進しており、平成21年12月には中心市宣言を行い、翌年には室蘭市と西いぶり管内5市町間において圏域の形成に関する協定の締結と、5か年の具体的な事業計画である、「西いぶり定住自立圏共生ビジョン」を策定した。平成23年度からは、ビジョンに基づき、関連事業を行っている。



■ 課 題

- 制度の最大の特徴の一つである、民間事業者との連携や事業に対する財政的支援が少ないため、事業促進が図りづらい状況にある。
- 行政に対する支援についても、特別交付税措置が主となっており、財源が不安定である、また措置上限額については、中心市と周辺市町の差が大きく一体となった取組みに支障がある。

■ 要 望 内 容

引き続き、定住自立圏構想を推進するとともに、特別交付税に加えて民間事業者を対象とした支援制度の創設や、周辺市町への特別交付税措置の上限額の引き上げを要望する。

■ 事 業 効 果

少子高齢化などによる人口減少に対応し、安心して住み続けることができる地域づくりと、圏域の経済的自立につながるものである。